



XP-PEN®

# XP-PEN

## ユーザーマニュアル

## I. 接続

ペンタブレット付属のクイックガイドに従ってデバイスを接続してください。

## II. 対応システム

Windows 7 以上、Mac OS X 10.10 以上

一部の製品は Android 6.0 以上に対応しています。

詳細① (<https://www.xp-pen.jp/topic/onAndroid.html>)

一部の製品は Chrome OS 88 以上に対応しています。

詳細② (<https://www.xp-pen.jp/topic/onChromeOS.html>)

## III. ダウンロード

XP-PEN 公式サイト (<https://www.xp-pen.jp>) より、購入製品の機種に対応したドライバをダウンロードしてください。

## IV. インストール

ダウンロードが完了したら、フォルダを解凍して「.exe」ファイル (Windows) または「.dmg」ファイル (Mac) を実行し、インストールが完了するまでプロンプトに従ってください。

注:

1. インストールする前に、ウイルス対策ソフトやファイアウォール、開いているすべてのソフトを一時的に閉じてください。
2. 他のペンタブレットのドライバがコンピューター上にインストールされている場合は、まずそれらをアンインストールしてください。
3. インストールが完了したらパソコンを再起動することをお勧めします。

## V. ドライバの概要

ドライバのインストールが完了後、お使いの XP-PEN デバイスをコンピュータに接続し、ドライバ画面を開き、デバイスのカスタマイズ設定を開始できます。

注:

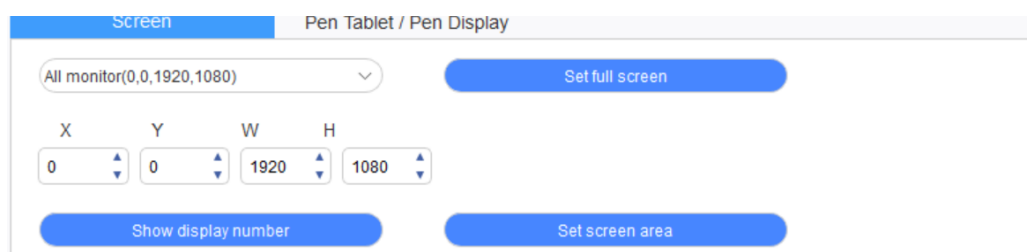
本書では、ドライバのすべての機能を説明していますが、実際に使用する際の機能は、接続されているデバイスにより異なります。具体的な機能については、実際に購入して使用したデバイスを参考にしてください。

## 設定の保存:

ドライバを終了した後、次回使用する際に変更した設定を有効にする必要がある場合は、ドライバ画面の左側にある「OK」ボタンをクリックして、変更後の設定を保存してください。設定が正常に保存されたら、「設定が正常に保存されました」というプロンプトが表示されます。そうでない場合は、変更された設定が現在使用されている場合にのみ有効となります。

# 1. 作業エリア

## 1.1 画面



複製モードで複数のモニターを使用している (すなわち、すべてのモニターが同じ画面を表示している) 場合、デバイスの作業エリアはすべてのモニターにマッピングされます。作業エリア内でペンが移動すると、すべてのモニターのカーソルが同時に移動します。

拡張モードで複数モニターを使用する場合、ドライバインターフェース上で、デバイスの作業エリアを選択して、対応するモニターにマッピングする必要があります。

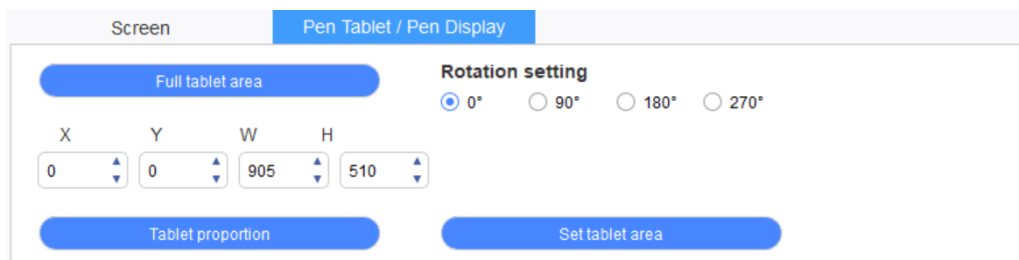
ドライバには、画面の表示エリアを設定する3つのモードが用意されています。

- (1) 全画面の設定: 選択したモニターの画面エリアを最大に設定します。
- (2) 画面エリアの設定: マウスを使って、画面の表示エリアを手動で設定します。画面の表示エリアの1つ目の位置 (左上) をマウスでクリックし、2つ目の位置(右下)をクリックします。
- (3) カスタマイズ: X、Y、W、H の下の対応する入力ボックスに座標を手動で入力して画面の表示エリアのサイズをカスタマイズしたり、ドライバインターフェースの画面アイコン上でマウスを使ってドラッグし画面の表示エリアを調整したりすることができます。

## ディスプレイ番号の表示:

接続されているすべてのモニターを識別し、各モニターの左下に数字の識別子が表示されます。

## 1.2 タブレット/ディスプレイ



デバイスの作業エリアの任意部分を、画面の表示エリアとしてマッピングするように設定します。ドライバには4つのモードが用意されており、選択することができます。

- (1) フル作業エリア: デバイスの作業エリアを最大化します。
- (2) 縦横比: デバイスの作業エリアと画面を同じ比率にします。
- (3) 作業エリアの設定: スタイラスペンを使用して、ペンタブレットの「左上隅」位置と「右下隅」位置をクリックして、デバイスの作業エリアを選択します。
- (4) カスタマイズ: X、Y、W、H の下の対応する入力ボックスに座標を手動で入力してデバイスの作業エリアのサイズを決定するか、スタイラスペンを使用してドライバインターフェース上のデバイスアイコンをドラッグして作業エリアのサイズを設定します。

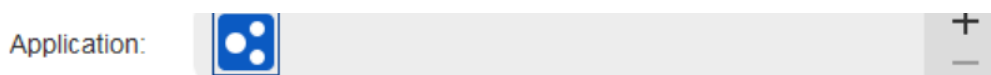
### 回転の設定:

デバイスを0°、90°、180°、270°に設定することができます。また、回転設定が終わったら、デバイス本体を対応する方向に回転させる必要があります。

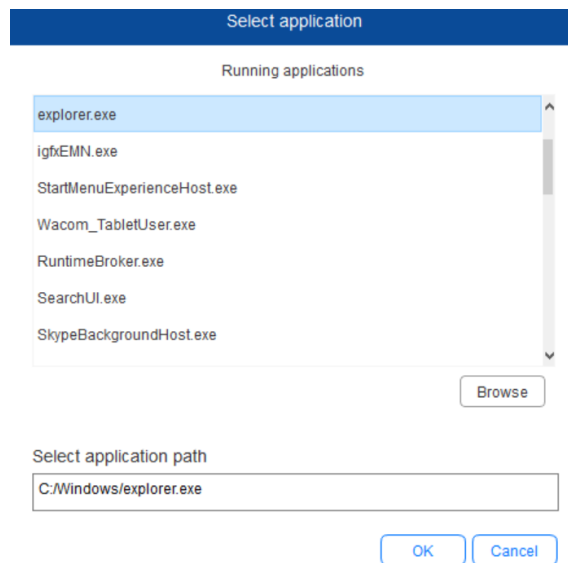
180°回転させると左利きモードに切り替わります。

## 2. アプリケーション

アプリケーションを選択したら、そのアプリケーションに必要な機能を設定します。

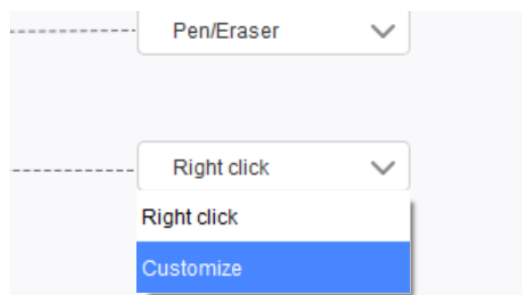


- a. アプリケーションバー右上の「+」をクリックすると、アプリケーション選択画面が開きます。
- b. 実行中のプログラムから追加するソフトウェアを選択するか、「参照」ボタンをクリックしてインストールされているソフトウェアから追加します。アプリケーションを選択すると、選択されたアプリケーションのパスが下部に表示されます。



- c. 画面の下部にある「OK」ボタンをクリックすると、選択したアプリケーションがアプリケーションバーに追加されます。

### 3. ペンの設定



#### ペンキー:

ここでペンキーの機能を設定します。ドロップダウンメニューをクリックして「カスタマイズ」を利用することもできます。

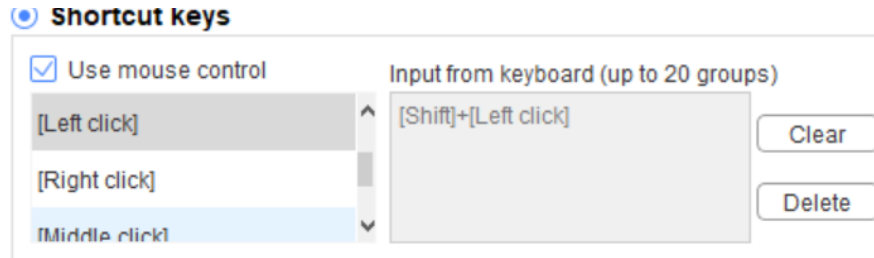
#### 注:

デジタルペンがデバイスの作業エリア内にあるときは、キーをクリックするだけで、ペンまたは消しゴムモードに切り替えられます。モードを切り替えた後、現在のモードが画面下部に表示されます。

「カスタマイズ」機能で「マウスでコントロール」および「キーボードからの入力」を選択すると、コンビネーションキーの機能をカスタマイズすることができます。

## マウスでコントロール:

ここでマウスでのコントロールとキーボードキーを設定できます。「キーボードシフト」と「左クリック」を選択すると、当該コンビネーションキー対応のソフトウェアでショートカットアクションが有効になります。



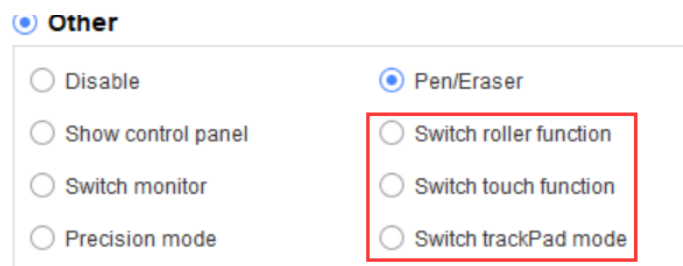
## キーボードから入力:

ここでキーボードショートカットを設定できます。たとえば、3D MAX ソフトウェアで Alt + A に設定すると、アライメントツールが使用できます。



ここでは、複数のキーボードショートカットを設定することができます。デジタルペンのボタンを押すと、設定したショートカット機能がすべて再実行されます。

赤色のボックスに表示される機能は、デバイスによって異なります。



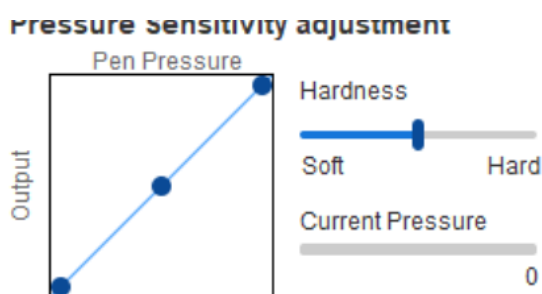
## 高精度モード:

高精度モードとは、デバイスの作業エリアを狭い領域に制限することです。この機能を利用することで、エリアを絞ってより詳細な描画を作成することができます。

## 筆圧調整:

筆圧の感度は、「出力」と「筆圧」のカーブを調整するか、ペンの硬さのスライダーを動かすことで調整することができます。

筆圧レベルは、現在の筆圧レベルを表示します。

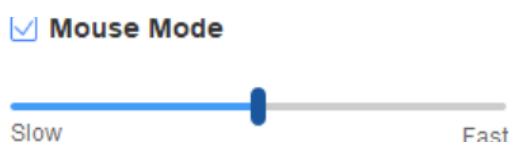


#### マウスモード:

マウスはデフォルトで絶対モード (絶対座標) に設定されています。相対モード (相対座標) を使用するにはここにチェックを入れます。選択後、カーソルの速度を調整することができます。

絶対座標 (ペンモード): これは標準のフリーハンド描画モードです。絶対座標とは、お使いの画面の表示エリアをタブレット/ディスプレイの作業エリアにスケールダウンすることです。

相対座標 (マウスモード): このモードの操作方法は通常のマウスと同じです。



#### Windows Ink:

描画ソフトによっては Windows Ink の筆圧に対応しているものもあり、デフォルトで開いているこの機能を開く・閉じることで、「Windows Ink」を選択・解除することができます。

## 4. エクスプレスキー

本デバイスのエクスプレスキーを使用する場合は、入力方法を英語モードに設定してください。他のモードに設定すると正しく動作しない場合があります。

デバイスのエクスプレスキーは、Photoshop のコマンドキーをデフォルト値としています。お客様のニーズに応じてエクスプレスキーをカスタマイズできます。デバイスによってエクスプレスキーの数は異なります。

デバイスにホイールやタッチ機能がある場合は、エクスプレスキーのいずれかを「リング切替機能」(対応する場合) に設定して、ホイールまたはタッチ機能を切り替えられるようにすることをお勧めします。

#### エクスプレスキーをカスタマイズ:

ドロップダウンメニューから「カスタマイズ」を選択すると、各エクスプレスキーの機能をカスタマイズすることができます。設定手順はデジタルペンキーと同じです (「3. ペンの設定」を参照してください)。

**Shortcut key settings:**

K1: B Keyboard key B    K3: Alt Eyedropper    K5: Ctrl+S Save    K7: Show control panel

K2: E Eraser    K4: Space Hand tool    K6: Ctrl+Z Undo    K8: Switch roller function

## 5. タッチ/ホイール

### 5.1 ホイール

**Roller**    Touch

**Functional group:**

Zoom     Brush size

Scroll     Rotate

デフォルトの4つのグループに分かれた機能の中から、使用したい機能を選択します。この機能をカスタマイズしたり、無効果設定にしたりすることができます。

#### カスタマイズ:

カスタム設定では、対応するキーの組み合わせに KL と KR を設定し、カスタムネーミングを使用することができます。

**Roller shortcut key settings** [X]

First select KL or KR with mouse click. Then input the shortcut key with keyboard

KL    Ctrl+=

KR    Ctrl+-

Clear    Delete

---

Customised name

Ctrl+=,Ctrl+-

OK    Cancel



## 5.2 タッチ

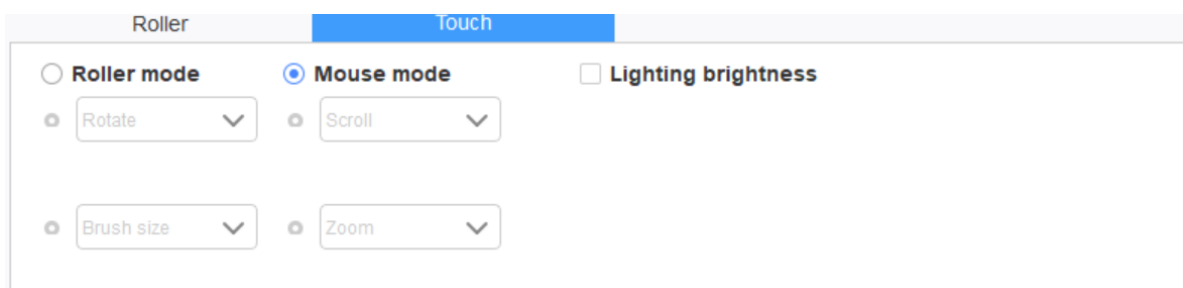
タッチを「マウスモード」または「ホイールモード」に設定することができます。

スクロールモード:

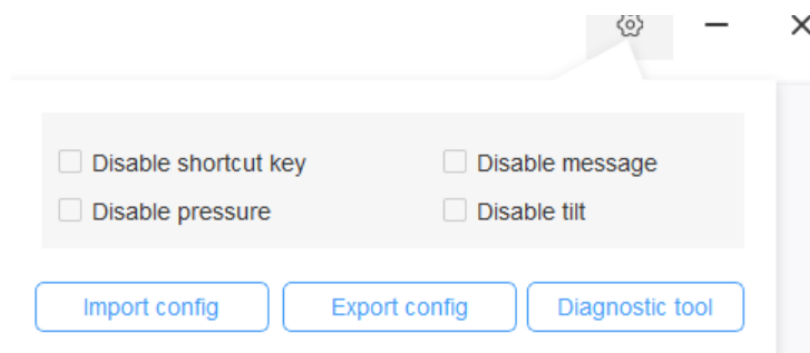
設定方法はホイール設定と同じです（「5.1 ホイール」を参照してください）。

マウスモード:

タッチがマウスのようにクリック、ダブルクリックの機能を果たします。



## 6. 設定



エクспレスキーの無効化:

この機能にチェックを入れると、すべてのエクспレスキーの機能を無効にします。

メッセージの無効化:

この機能を選択した後、ショートカットキーを使用すると、画面下部にプロンプトメッセージは表示されません。

筆圧の無効化:

この機能にチェックを入れると、スタイラスペンを使用する際にペンの筆圧を感じることはありません。

### 傾斜の無効化:

この機能にチェックを入れると、スタイラスペンの傾き効果が無効になります。

### 診断ツール:

ドライバの使用中に不具合が発生した場合は、診断ツールを利用することができます。

### インポート&エクスポート設定

設定したエクスプレスキーなどの機能をインポートおよびエクスポートして保存したり、設定を読み込んだりすることができます。

### 注:

変更した機能をインポート&エクスポートする場合は、ドライバ画面の左側にある「OK」ボタンをクリックして、まず設定を保存してください。

ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

公式サイト: [www.xp-pen.jp](http://www.xp-pen.jp)

Eメール: [servicejp@xp-pen.com](mailto:servicejp@xp-pen.com)